



等参画推進計画の体系図」をご覧ください。第5次男女平等参画推進計画は、4つの主要テーマ、13の施策、32の取り組み、さらに10ページ以降に78の事業計画を定めております。実施状況報告書1ページをお開きください。実施状況報告書は計画書の事業計画欄を事業活動報告で置き換える形で作成したことがお分かりになるかと思えます。つまり、計画書の10ページ中段「生き方や働き方を考える講座の開催」という事業計画は実施報告書では「なりたい講師になるための準備セミナー」開催というように、男女平等参画課によって実施されたことがお分かりになると思えます。また、複数の部署が同一事業計画を実施する場合がありますが、報告書2ページをご覧ください。例えば一つの事業計画に対して3課の3事業が並ぶこととなります。以下、同じ形式で報告書を作成し、78事業計画に対応して各課が実施した事業活動、計139事業を示してあります。なお、報告は事業活動の内容、事業の対象、活動指標、成果指標を検討し、可能な限り数値化して表示してあります。さらに、各担当課で自己評価を行い、下の段に記載しています。昨年度からの改善点は、各担当課による自己評価を新たに加えた点であります。なお、事業担当課の評価とは別に推進計画の分類に従い、32の取り組みごとに男女平等参画推進の視点から「取り組み」の単位で「自己評価」しております。この点は、昨年度と同様であります。本年度はご覧いただいたとおり、第5次男女平等参画推進計画の計画書のページ構成をそのまま利用した形としておりますので、個々の事業の全体的位置付けを俯瞰する場合には、1ページ見開きの「体系図」に戻ってご確認くださいと考えます。以上が、今年度報告書の構成であります。なお、139各事業内容の説明につきましては、時間の制約等がありますので、この場での説明は省略させていただき、グループ討議に担当が説明要員として参加する予定であります。その場でお答えできなかったご質問や後日生じた質問等につきましては、事務局にお示しいただければ、調査のうえ回答申し上げますことといたします。

以上をもちまして立川市第5次男女平等参画推進計画実施状況報告、平成23年度年次報告といたします。よろし

	<p>くご審議をお願い申し上げます。</p> <p>会長 この実施報告書についてご意見はありませんか？</p> <p>委員 B 活動指標と成果指標を設定した経緯についてお聞かせください。</p> <p>男女平等参画課長 活動指標は市が行った活動の回数や件数を指標にしたものです。すなわち活動指標は「なにをやったのか？」を示す指標となります。一方、成果指標は事業活動を行った結果を数値としてあらわすものです。「どうなったのか？」を示す指標となります。この二つを分けて記入することで各事業について、どのような目的で、どのような活動をして、どういう成果が現れたのかということが一目でわかるようにするためにこのように設定いたしました。</p> <p>会長 次にこれから推進計画の実施状況を評価することになります。昨年は主要テーマ1と2をAグループ、3と4をBグループとグループ分けをして進めていきました。私としては今年度も昨年度と同様の進め方がよろしいのではないかと思いますがいかがでしょうか。また、グループのメンバーについても、なるべく引き続きやっていただいた方がより深い議論ができると思いますがいかがでしょうか。</p> <p>会長 特にご意見は無いようなので、昨年と同じようにグループ分けをして同じような進め方で評価をしていきたいと思っています。では、ここから先はグループに分かれて論議していただきたいと思っています。</p> <p><b>計画のテーマⅠ、テーマⅡについて（Aグループ）</b></p> <p>出席者 長島佐恵子、中村陽子、矢野美智子、太田靖敏、事務局（部長以下3名）</p> <p>委員 E 報告書の1ページの「なりたい講師になるための準備セミナー」とはどのようなものなのでしょうか。</p> <p>事務局 「なりたい講師になるための準備セミナー」では自分の得意なことで社会に参画したい女性のために講師デビュー準備セミナーとして開催いたしました。</p> <p>こちらの講座は、特定のテーマの講師養成を目的とするセミナーではなく、受講生とのコミュニケーションの取り方</p>
--	---

	<p>や、講師としての立ち振る舞いや発声の仕方、板書や資料の作成方法など、どの分野の講師になるにしても必要な基礎知識を勉強していただくためのセミナーです。</p> <p>一昨年まではアイム・キャリアアップスクールを行っていましたが、アイム・キャリアアップスクールよりも一歩踏み込んだ内容となっております。</p>
委員 C	<p>成果指標に受講生のうちの4人が生涯学習市民リーダーに登録されたとありますが、全員に登録することが目標だったのでしょうか。</p>
事務局	<p>生涯学習市民リーダーに登録していただくことがセミナーの目標というわけではありません。生涯学習市民リーダーに登録された人数はわかりやすい指標でしたので成果指標にしましたが、ほかのところで活躍されたり、自信に繋がったりということもありますので、講座の成果のうちの一つというようにとらえていただければと思います。</p>
委員 C	<p>4人という人数をどう評価するか難しいですね。</p>
委員 G	<p>数値の評価は難しいですね。ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定数の4社もそうですね。</p>
男女平等参画課長	<p>応募してきた事業所が4事業所でその中で認定した事業所も4事業所という数字は残念に思っています。応募事業所が50社くらいあればよかったです。</p>
委員 C	<p>事業所の対象数はどのように出したのでしょうか？</p>
男女平等参画課長	<p>経済センサスで公表している立川市の事業所数です。</p>
委員 E	<p>計画書では託児室を設置するなど、子育てを応援する事業所の表彰を行うと書いてありますが、託児室を設置できる事業所は限られていて、中小企業はできないと思います。</p>
男女平等参画課長	<p>計画書ではそのように書いておりますが、現在行っている事業所認定制度では、託児室の設置は認定基準のチェックシートの一項目に過ぎないものです。認定する時には認定基準のチェックシートの53項目より10個以上かつ3つの分類よりそれぞれ1つ以上のチェックがあれば基準を満たすこととなりますので、託児室が設置されていることが必要不可欠な要件であるということではありません。</p>
委員 D	<p>この制度について知らない事業所が多いと思いますが、どのように周知しているのでしょうか。</p>
男女平等参画課長	<p>広報でお知らせしているほか、産業振興課を通して商工</p>

	<p>会議所に働きかけたり、駅前の事業所にはチラシを投函するなどして、周知に努めています。</p>
委員 D	<p>このチェックシートを見ていただだけでも啓発になると思います。</p>
委員 C	<p>報告書の 3 ページにあります地域経済活性化推進員はどういう活動をされているのですか？</p>
総合政策部長	<p>中央図書館にビジネス関係の図書を集めて、ビジネスライブラリーというものを作りました。さらに起業の相談や経営相談を受けられるように中小企業診断士の資格者を一人配置しました。そうしたところ、就労の相談も多く来るようになったので、現在は経営相談と就労相談を 2 名体制で行っております。</p> <p>その中で女性の起業などの部分がこの推進計画に関連してきます。</p>
委員 G	<p>28 ページや 33 ページのところで活動指標や成果指標が空欄になっている項目があるのですが、これは数値では書けなかったということなのでしょうか。</p>
事務局	<p>女性に特化した事業を行っていないということで空欄になっているようです。こちらについては、女性のみを対象とした事業でなくても実績として入れることはできますので、再度確認いたします。</p>
総合政策部長	<p>この報告書はまだ案ですので、ご指摘があればその都度お願いしたいと思います。</p>
会長	<p>では、以上で審議会を終了いたします。次回は 11 月 22 日（木）午後 7 時から開催いたします。</p>
<p><b>計画のテーマⅢ、テーマⅣについて（B グループ）</b></p>	
出席者	<p>露木肇子、小林章子、片野勸、二場美由紀、事務局（係長以下 2 名）</p>
副会長	<p>今日は、ざっくばらんに気が付いたことを話していきたいと思います。では立川市第 5 次男女平等推進計画実施状況報告書（平成 23 年度年次報告）36 ページからはじめます。今日話したことを基にひとりひとりが検討して意見をメールで事務局に送るようお願いします。何か気が付いたこ</p>

		とはありますか。
委員 H		1つの事業番号の事業を複数の課が一緒に行っていますよね。例えば38ページのイ. ①事業番号45ですが、この記載方法では同じことをやっているのか、違うことをやっているのか分かりづらいので、分かりやすいようにできないでしょうか。また、1つの事業が違う事業番号のところにも出てきているのですが、平成23年度事業概要を見ないと同じものかどうか判断できないので、一目で見てわかるような表示があると良いと思います。
事務局		同じ事業は1つにまとめるほうが良いと思います
委員 H		活動指標や成果指標が各課で違っているので1つには表示しづらいところがあります。
委員 B		確かに成果指標が各課によって違っては、まとめられないのかもしれないですが、分かりにくいところがあります。
事務局		事業番号46の事業は、いろいろな課が重複していて横並びになっていますね。
委員 H		そうですね。計画を作る時に、事業該当課としていて、その課に実施状況を調査し、作成しています。
委員 H		実績を見ながら同じかどうか判断している状況で、報告書だけではわかりづらいです。
委員 H		事業番号46番の事業は17の課がやったということですね。報告が出ているのは8課です。
事務局		計画を作った時点で該当している課に調査しているので、その後事業(会議)に参加した課は報告書には出ていません。
委員 A		調査票を送った課と実際に事業に参加した課とは違いますね。そのずれはどうして生じるんですか。
事務局		仕事で関わってくる課が増えているからです。
委員 A		今のご説明は理解できるのですが、事業に参加した17課に調査票を配布しないで、当初の課にしか配布しなかったのはなぜですか。
事務局		計画を策定する時、推進本部の幹事会で話し合っただけで事業該当課を決めたので、男女平等参画課で勝手に変更できないからです。
委員 A		実施したにも関わらず評価しないのは次につながらない

	<p>し、次につなげるため、事業を良くするための報告書だと思えます。計画書に当初該当した課しか載せないということですが、組織の変更で課が変わることはありますし、変わることを前提に対応したほうが良いと思えます。</p>
委員 A	<p>組織が変わることを前提に、コンセンサスを得たうえで、対応したほうが良いと思えます。誰かが声をあげないといけないと思えます。</p> <p>これらを提示されないと、審議委員は評価できないので、対応したほうが良いと思えます。</p>
委員 H	<p>17 課の名前が出ていないのですが、どこかに出でいますか？</p>
事務局	<p>出ていないですね。</p>
委員 H	<p>せっかく広範に事業をしているので、知りたいですね。</p> <p>さらに広がってくるとすばらしいですね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p>
委員 H	<p>男女平等参画課の事業概要には、市民向けの事業については詳しく出ていますが、庁内で行っている事業は出ていないですね。</p>
事務局	<p>23 年度は、庁内向け研修や庁内連絡会も行ったので、掲載しています。</p>
委員 A	<p>39 ページ事業番号 46 番の男女平等参画課の実績は、この課から参加している人数だと思えますが、100 パーセントというのは何を以って 100 パーセントなのか。</p>
事務局	<p>17 課に呼びかけて、17 課が参加したということです。</p>
委員 H	<p>前年度の報告書より良くなったと思えますが、詳しくなっているから、逆に見方が難しくなっているのでは工夫が必要だと思えます。</p>
委員 F	<p>39 ページの庁内連絡体制の拡充については、同じ事業でまとめることはできないですか。</p>
事務局	<p>活動指標や成果指標は異なっているのでまったく一緒ではないのですが、できないことはないと思えます。行政経営課で可能な限り事業を数値化するとありまして、去年から男女平等参画課の計画も数値化の難しいものもありますが、なるべく数値化するようにしています。</p>
委員 H	<p>DV 防止庁内連絡会を今までに 2 回やって進歩発展はありましたか。</p>

事務局 委員 H	ありました。皆さん熱心です。 54 ページ子育て推進課事業番号 61 番母子自立支援事業は実績等が出ていないですね。
事務局 委員 A	DV に特化した事業ではないため数値が出ていません。 DV 被害者を把握していないということですか？
事務局 委員 H	ひとり親家庭として支援していますが、潜在的な DV 被害者は把握できません。 53 ページの生活福祉課事業番号 61 番については、数が把握できるのですか。
事務局 委員 H	DV 被害者として相談があり支援した件数のためです。 53 ページ事業番号 61 番は、DV 被害者の数でなければ、書けるんですね。
事務局 委員 H	それぞれの事業実績でしたら書けると思います。 他のページの事業報告に、DV には限らないけれどとして、事業実績を書いているものもあるので、同様に入ると良いと思います。
委員 A	DV に特化することなくで、ひとり親家庭に対してどのような取り組みを行っているかを書いてもらったほうが良いと思います。
委員 H	何もなしではなく、もう少し丁寧に書くと良いと思います。
委員 A	母子自立支援事業に関しては、子育て推進課は子どもの心の支援には書いていますよね。
委員 H	50 ページ男女平等参画課事業番号 57 番、担当課評価欄に「22 年度と比べ、DV 被害相談は 35 パーセント増えている」とありますが、数字を入れても比較がないと増えているかどうか分からないので、前年の数値を載せるなど分かるように書いて欲しいです。
委員 H	37 ページの民間団体主催講座への支援ですが、支援しているのですか。
事務局 委員 H	はい、会場提供や講師謝礼の援助をしています。 今年度の報告書と去年との違い、セールスポイントはありますか。
事務局 委員 H	去年より読みやすくなったと思います。
委員 A	DV の事業が増えたと思います。 計画を前倒しで行ったこともセールスポイントですか。



	事務局	はい
	委員 H	去年も思ったのですが、生活安全課の DV 相談数ですが、実際はもっとあると思うのですが、少なくて残念です。
	委員 H	意見は、報告書だけではなく事業概要を見て検討したほうが良いと思います。
	副会長	進捗状況についての評価ですから、良いところと、まだ改善できるところを考えて、メールをお願いします。それでは、終わりにしたいと思います。今日はありがとうございました。